



グランセラトップ 2 液ファイン



# GRANCERA TOP

ターペン可溶 2 液セラミックハイブリッド超高耐候超低汚染無機系塗料

## グランセラ<sup>TM</sup>トップ 2 液ファイン

美しい  
つや感

高い  
耐久性

安心の  
超低汚染性

防藻・  
防かび性



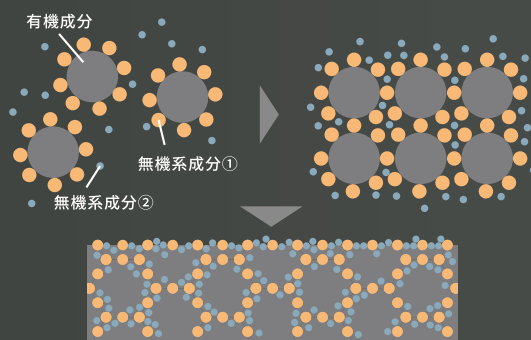
## 住まいの「美観」をまもり、「寿命」を延ばすハイグレード塗料 グランセラトップ 2液ファイン

ラジカル制御技術とセラミックハイブリッド技術を融合。フッ素樹脂塗料を超える高耐候性、超低汚染性を誇るハイグレードの外壁用塗料です。

### セラミックハイブリッド無機系塗料とは？

無機塗料は紫外線に強く、高い光沢と燃えにくさが特長ですがその反面、塗膜が割れやすいという性質がありました。そこで無機の硬い部分（無機系成分①）と有機の柔軟部分をハイブリッド化することで「弾性」の性能が発揮されます。

さらに表層に配向した無機系成分②により、超低汚染性を発揮します。



塗膜形成イメージ図

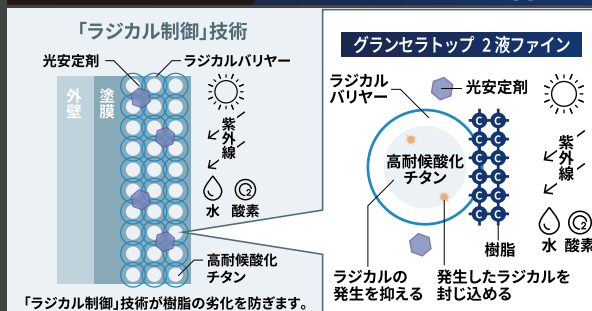
### 独自技術で紫外線から住まいをまもる、非常に優れた耐候性塗料

一般的な塗膜は、酸素や水とともに紫外線があたると顔料の主成分である酸化チタン内からラジカルが発生し、塗膜劣化を誘発します。そこで日本ペイントは、ラジカル発生を抑え、かつ発生したラジカルをバリアー内に封じ込める高耐候酸化チタンの活用技術を開発。さらに光安定剤の併用により、ダブル効果で優れた耐候性を発揮します。

#### ● 上塗り塗料の耐候性のグレードレベル

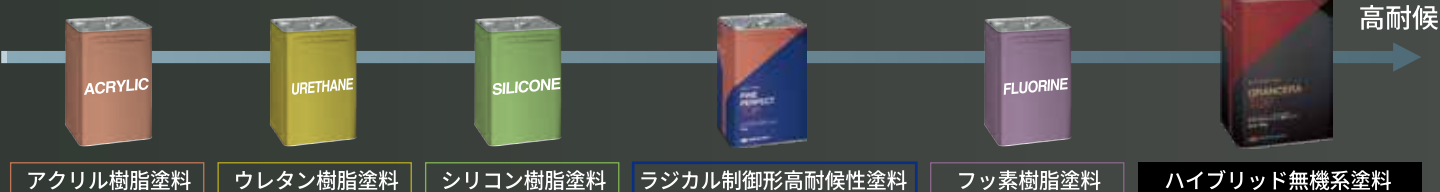
塗料の耐候性には様々なグレードがありますが、ラジカル制御形塗料は住まいを長持ちさせる品質・性能をコストパフォーマンス良く享受できるのが魅力です。グランセラトップ 2液ファインはフッ素を超える高耐候性。長期的に見て塗装回数が減り、お住まいのメンテナンス費用削減につながります。

#### グランセラトップ 2液ファイン ラジカルバリアーと光安定剤によるW効果



GRANCERA SERIES  
グランセラトップ 2液ファイン

#### PERFECT SERIES



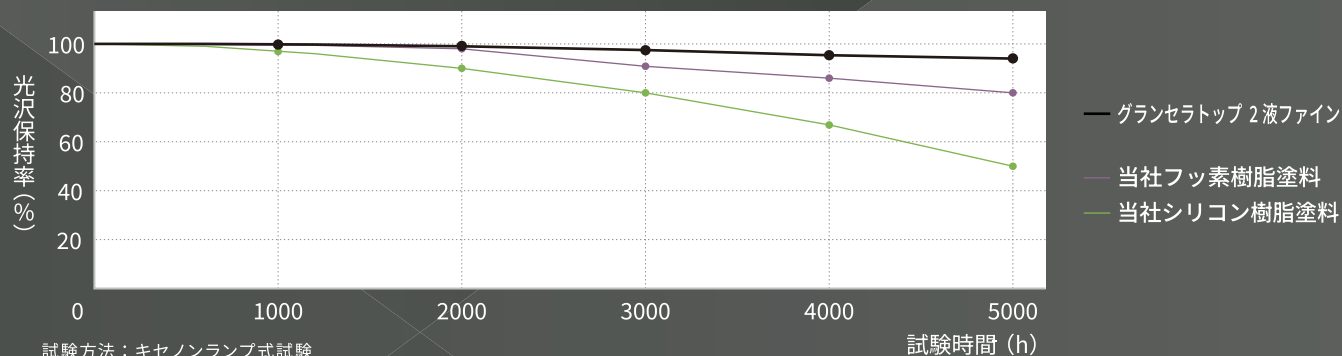


## “6つの特長”で、外壁を美しくまもりま

### 1. 優れた耐候性

グランセラトップ 2液ファインは、促進耐候性試験において優れた耐候性を示しました。

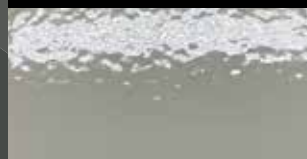
#### 促進耐候性試験



### 2. 美しいつや

グランセラトップ 2液ファインは、高いレベリング性により、つやが優れています。またつや有り・7分・5分・3分つや有りと幅広く対応が可能です。

グランセラトップ 2液ファイン（つや有り）



※ 上記は平滑仕上げの塗膜画像です。  
仕様はパーフェクトプライマー+グランセラトップ 2液ファイン

当社一般低汚染弱溶剤塗料（つや有り）



※ 上記は平滑仕上げの塗膜画像です。

### 3. 超低汚染性

グランセラトップ 2液ファインは、「超低汚染性」（親水性機能）によって、建物外観に付着した汚れを雨とともに洗い流し、美観を維持することが可能です。

### 4. 防藻・防かび機能

藻・かびの発生を抑制し、建物の美観と清潔な環境をまもりま。

### 5. 幅広い下地適性

下塗りを変えることで幅広い素材への塗装が可能です。

### 6. 弾性仕様

弾性タイプの主材（下塗り）と組み合わせることで、外壁のひび割れに追従でき、各種弾性形塗料の塗り替えに適応できます。

#### 塗料性状・荷姿

| 塗料名                 | 色相 | つや                        | 容量                                                  | ポットライフ     |
|---------------------|----|---------------------------|-----------------------------------------------------|------------|
| ニッペ グランセラトップ 2液ファイン | 各色 | つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り | 16kgセット(塗料液14kg・硬化剤2kg) 3.2kgセット(塗料液2.8kg・硬化剤0.4kg) | 6時間以内(23℃) |

#### 乾燥時間

|        | 5～10℃ | 23℃   | 30℃   |
|--------|-------|-------|-------|
| 塗り重ね乾燥 | 8時間以上 | 4時間以上 | 3時間以上 |

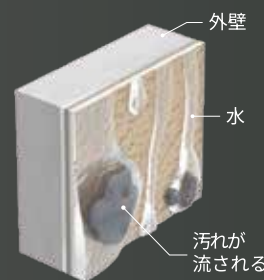
※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

#### 塗膜と汚染物質のモデル図

##### グランセラトップ 2液ファイン

親水性膜

水に濡れやすい塗膜

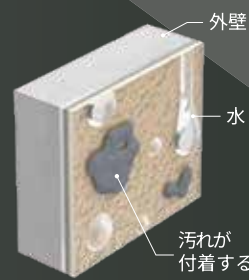


親水性が高いと汚れが落ちやすい

##### 一般的な塗料

親油性膜

水をはじきやすい



親水性が低いと汚れが落ちにくい





## 適用下塗り塗料・適用下地

|            | 適用下塗りおよび中塗り塗料                                      | 適用下地                                            |
|------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 内外壁<br>付帯部 | パーフェクトフィラー<br>パーフェクトサーフ<br>タイルラック1液 EPO-Sベース       | DANフィラーエポ<br>DANタイル中塗りRホワイト/Sホワイト<br>ファイン浸透シーラー |
|            | 水性パーフェクトシーラー<br>ファインパーフェクトシーラー<br>1液ファインパーフェクトシーラー | ●モルタル面<br>●窯業系サイディングボード                         |
|            | パーフェクトプライマー<br>ハイボンファインプライマーⅡ<br>1液ハイボンファインデコ      | ●コンクリート面<br>●ALCパネル面<br>●各種日塗膜の上                |

※1 下地が木部の場合はパーフェクトプライマーをご使用ください。



## 標準塗装仕様(塗り替え)

●モルタル面、コンクリート面の塗り替えなど

[illegible]

●窯業系サイディングボード、ALCパネル面の塗り替えなど

| 塗装工程   | 塗料名                                   | 塗り回数 | 使用量(kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤          | 希釈率(%)       | 塗装方法                   |
|--------|---------------------------------------|------|---------------------------|---------------|--------------|--------------|------------------------|
| 下地改修処理 | 下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。 |      |                           |               |              |              |                        |
| 下地調整   | ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。   |      |                           |               |              |              |                        |
| 下塗り    | パーフェクトサーフ                             | 1    | 0.20～0.40                 | 3時間以上         | 水道水          | 2～5          | はけ・ウールローラー             |
| 上塗り    | グランセラトップ 2液ファイン                       | 2    | 0.12～0.14                 | 4時間以上         | 塗料用<br>シンナーA | 0～10<br>5～10 | はけ、ウールローラー<br>エアレススプレー |

※フッ素および無機コーティングした窯業サイディングボードの場合は、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。

## ●一般鉄部、金属サイディングボード面

| 塗装工程 | 塗料名                                                                   | 塗り回数 | 使用量(kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗り重ね乾燥時間(23℃) | 希釈剤      | 希釈率(%)       | 塗装方法                  |
|------|-----------------------------------------------------------------------|------|---------------------------|---------------|----------|--------------|-----------------------|
| 下地調整 | 膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。 |      |                           |               |          |              |                       |
| 下塗り  | パーフェクトプライマー                                                           | 1    | 0.14～0.16<br>0.16～0.18    | 4時間以上7日以内     | 塗料用シンナーA | 0～5          | はけ、ウールローラー<br>エアレスプレー |
| 上塗り  | グランセラトップ 2液ファイン                                                       | 2    | 0.12～0.14                 | 4時間以上         | 塗料用シンナーA | 0～10<br>5～10 | はけ、ウールローラー<br>エアレスプレー |

※下塗り(さび止め)にはエスパワンエース、ハイポン20デクロ、1液ハイポンファインデクロ、ハイポンファインプライマーⅡも使用できます。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

※カタログに記載している内容は一般的な環境下での施工を想定し記載しております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

**施工上の要点と注意事項** ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

①～7℃未満かつ非常に強い風の場合、その1回目より2回目②～3℃未満かつ有り無しを使用下さい。2本目以上は優れた性能に含み得た水や湿気とも敏感に反応します。必ず型枠し、0℃～40℃未満に係る水解作用を回避してください。3.熱膨張と収縮：建材（金属もタイル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン製建材等）を使用した「高断熱型外壁」では、日温差が大きい弾性モルタル、アクリル樹脂などの場合、塗膜は周縁部分にて目詰まりが現れやすいことがあります。そのような塗膜すきれが生じやすくなる状況がありますので、完全に除去しないでください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、ひびくが生じるおそれがあるため、最悪の塗装箇所にて目詰まりがない、塗装場所の気温が5℃未満、または湿度85％以上の場合は、またはいかに十分でない（結果が不明な）場合は、塗装を止めてください。5.FRP：直ちに直接塗装する場合、もし地盤（厚さ）を実測していただき、厚肉硬質塩化ビニル製の屋根により非常に付着しにくい素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し付着性を確認してください。6.風化面・吸込みの多い地下地では、二重浸透性シーラー（※）1次バインダーファクターエッジシーナー、ニッパペイント用シーナー（※）を使用して下さい。なお、使用後は濡らした感覚が主を目安とし、素地の強い凹凸箇所がある場合には部分を薄塗りしてください。7.塗料と硬化剤の混合は、電動攪拌機などで均一になるまで行ってください。8.つ調製品とは、ほぼローラーでの塗装はむづかしいです。（つまりスプレー塗装を要する場合があります。）9.つ調製品とは、塗り直しや修繕でうまく出ずらいので、一面を切って塗り出ししてください。10.過剰希釈をするとか本来のつやが現れないおそれがあるので、規定の希釈量をまわってください。11.つ調製品は被塗物の形状、素地の色調、厚色、顔料の重なり時間などに依り、乗割のちやこばつきで見える場合がありますので、事前に試し塗りを行って確認してください。12.つ調製品は、使用中にも塗料の色味が随分しく、乗割のちやこばつきで、遠慮かよくないながらも「使用しない」「防汚、防カビ効果も」、繁殖を抑制するものです。この影響を受ける場合は、下地処理として除去および置き置処理を自らで塗装してください。14.被塗物の構造、部位、塗装仕上り形状、環境条件などによって影響で、本来の低汚染機能が現れない場合があります。15.塗装面を部分補修する際には、外部の塵埃れなどに注意し、再汚染も発生の原因になります。16.高規格系塗料の場合、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、部材への塗装においても、換気・空気を取入なども衛生上、溶剤蒸気が室内に入りやすいように注意してください。居住者への配慮をお願いします。17.市街のシンナーへも使用したり、準導引としてのツヤ付けや、さらにかぶり不良とさせる不具合になりますので、必ず所定のシンナーあるいは希釈率をまちってください。18.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解場合があります。19.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。20.硬化剤は室温で硬化しますので適宜冷却して貯蔵してください。21.塗面を扱った場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、高寒期と冬とも吸い込みやすい上に十分に注意してください。22.塗膜の乾燥過程で光の影響を受けると黄変（高温度、結露、腐食など）、塗膜面が白化するおそれがあります。光の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。23.日塗装が塗料用シンナーで容易に消せるや有日塗装の場合は、組みや乾きが済んでいるおそれがあるため、塗装は避けてください。弱溶剤1液形塗料や水性塗料での塗り替えをお奨めします。24.日塗装に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔を保ってください。付着阻害でおそれがあります。25.既存塗膜とは（種類問わず）、既存塗膜の塗装仕様と異なるタイプを行っていただく。26.改修工事に伴う場合は、日塗装の種類によっては既存塗膜に影響による、日塗装は洗剤溶剤や稀酸などの化学物質が発生する場合がありますので、日塗装の種類の確認の上、塗料を塗布と検討してください。27.シンナーの上には、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。28. シンナー面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあるので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シンナーリジウム成分に変化した後には上の塗りの適合性を確認し、必要手順を行ってください。また、ニッププライドオプティマizerを塗ること、可塑剤移行による塗膜の劣化が考えられ、シンナーの

5. 使用条件などによりよく腐、収縮等が起ることとなります。29.旧塗膜の種類が不明の場合は必ず目録表施工条件を確認してください。

30. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ウレック科学社製CH-C-2型で測定した場合)、または10%以下(ウレック科学社製HI1500シリーズ・コンクリートンデ測定した場合)の条件で塗装してください。表面に、ほこり、エプロン繊維、スライムなどは除去し、目録表のジャコ、コールドアウトなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。32.AL(Ⅲ)重、多孔質、欠け、コンクリートブロック面などの素地に塗る際は、塗布や乾燥などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッパルパイク・コンクリートプライマー・20.0)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)。33.内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りシーラーを塗ってください。34.材質の若いコンクリートとセメント成分が十分に硬化していない場合、エプロン繊維が浮き出る場合がありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。35.新設のコンクリート床板、GRC板、フジシカルボードなどは、下塗り材としてニッパ浸透性シーラー(新)、ニッパ1液アインパーフコートローラーニッパアインパーフ浸透シーラーを使用してください。36.塗料硬化後の混合塗料は、必ず落とすでください。混合塗料が不適切な場合、塗膜性能が現れなくなったり、仕上がり色相が低下することがあります。37.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合は、必ず48時間以上塗装を避けてください。38.塗装面および塗装後に密閉する乾燥場所です。乾燥を十分にしてください。39.塗装面および塗料の取り扱い時は、換気扇を十分に回し、火気厳禁してください。40.取扱いのたためず書きを行ってください。41.生か、天然など長時間乾燥を要する箇所には塗膜の白化、膨れなどにより発生する場合がありますので、養生シート(設置方法など)に配慮し、換気と湿気を十分に42.薄めすぎは厚い力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。43.上塗りに汚れたイロー、レッド、ブルー、グレイ系色相を使用する場合は、色相を塗り直して塗装してください。なお、特に汚れた色相では、色相を下塗りとして標準の使用量、塗装回数で色相に再現する場合があります。事前に試験施工(1㎡板等)にて確認下さい。44.彩色系カラーは、原色の色相、塗膜と塗料との色落ちすることとなります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するところ(箇所)に使用する場合は、フアンシヨコンソッシュクリーナーを上塗りに塗装してください。クリーナーのローラー及び剛毛塗料で、下塗り塗膜の溶解や痛みが生じる場合には、スプレー塗料をくり代えてください。45.黒色相を塗る場合には、つむむが目立ちやすいおそれがありますので、事前には塗料を十分に確認の上、ご使用下さい。46.大面塗料の色相は、補修部分に立立つこととなります。使用塗料の口は、必ず塗る。補修の際は塗料コト、希釈率、および補修方法など塗料を同一にしてください。49.コトの上塗を塗装してください。50.ローラー、けなどは、ほかの塗料の塗料に塗ることはしないで塗るするそれらより十分に洗浄する。専用で使用する51.平滑仕上げや顔料目上げの場合には、素材次第の状態によって、吸込みや巣穴などピンホール、凹凸などを防衛するため、パテ工程や補修工程が必要になる場合があります。52.塗装後短時間内にマシンケーシングなどを貼り付けたり、テープ跡が残ることとなります。取り方はテープの種類によっても異なりますので、事前に確認してください。53.耐射時は一度に使用してください。劣化を待て得る保管の場合に密閉して冷暗所に保管し、遠く遠くに使ってください。54.塗料は内容物が均一にならなくばはしないでください。55.塗料調整器には、つむむの汚染防止に使用することができますので、かたは機を定期的に圧入の洗浄を十分にしてください。56.塗料調整器の要因により塗布で、保管・運送時に塗料を腐敗ししないでください。56.内容物/容量を国際、国/都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。57.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料など洗浄した排水は、そのままだけ排水溝に流すや環境に悪影響を及ぼすそれらより、排水処理場の施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

**日本ペイント株式会社**

|         |               |      |               |
|---------|---------------|------|---------------|
| 北海道支店   | ☎011-370-3101 | 近畿支店 | ☎06-6455-9608 |
| 東北支店    | ☎022-232-6711 | 中国支店 | ☎082-281-2180 |
| 関東支店    | ☎03-5479-3614 | 四国支店 | ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 | ☎03-5479-3614 | 九州支店 | ☎092-751-9861 |
| 中部支店    | ☎052-461-1960 |      |               |

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2024 NIPPON PAINT CO., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-C137  
AZ240910T  
2024年9月現在